

Bucyrus City School District Title III/LEP Parent Notification Letter

学区名 _____

ビル _____

日付 _____ 学年 _____

生徒名 _____

ご両親・保護者へ：

当学区では、英語が家庭内使用言語でない、または英語が母国語でない全生徒の英語力を評価することが義務づけられています。お子様のご家庭では英語が普通使用されず、また母国語が英語ではないため、お子様の英語による意思疎通能力を評価させて頂きました。お子様の英語力は以下のテスト項目から評価されました。

聞く能力 (Listening) _____

話す能力 (Speaking) _____

読む能力 (Reading) _____

書く能力 (Writing) _____

お子様の英語力に関する最初の評価結果は以下の通りです。

疎通能力

能力レベル

Listening (聞く)	_____ 機能できない	_____ 初級レベル	_____ 中級レベル	_____ 上級レベル	_____ 堪能
Speaking (話す)	_____ 機能できない	_____ 初級レベル	_____ 中級レベル	_____ 上級レベル	_____ 堪能
Reading (読む)	_____ 機能できない	_____ 初級レベル	_____ 中級レベル	_____ 上級レベル	_____ 堪能
Writing (書く)	_____ 機能できない	_____ 初級レベル	_____ 中級レベル	_____ 上級レベル	_____ 堪能
Comprehension* (理解)	_____ 機能できない	_____ 初級レベル	_____ 中級レベル	_____ 上級レベル	_____ 堪能

* 理解力は聞くこと・読めることに基づいて評価。

上述の英語力評価結果に基づいて、お子様の英語力習得・学業力向上のため、以下のプログラムまたはプログラムの組み合わせを提供させて頂くことになりました(プログラム内容に関しては3頁を参照して下さい)：

_____ 第2言語としての英語(ESL) クラス 週当たり時間数 _____

_____ 構造化イマージョンクラス 週当たり時間数 _____

_____ バイリンガル・クラス 週当たり時間数 _____

_____ 母国語援助 週当たり時間数 _____

_____ 個別指導 週当たり時間数 _____

_____ 学級内(参入)援助 週当たり時間数 _____

前ページ記載のプログラムまたはプログラムの組み合わせは、お子様の英語力を1日も早く向上させ、英語で教えられる一般学級活動に参加できるように準備・提供されるものです。お子様が必要な英語力を獲得し、学区の英語力不足 (Limited English Proficient - LEP) 生徒プログラムから卒業できるのは以下の場合です。

- オハイオ州英語力習得テスト(OTELA)で集成スコアが5の場合;または、
- OTELAでの集成スコアが4で、メインストリーム授業での試用期間を完了し、その間にOTELAの集成スコアが4以上となった場合。

その他特別条件

- 3年生未満の生徒はLEPプログラムを卒業できません。
- 2年生の時にOTELAスコアが4または5となり、3年生の時にメインストリーム授業試用期間中にスコアが4以上の場合はプログラムから卒業できます。

移行学年度

2008-2009学年度にOTELAスコアが4または5を獲得したLEP生徒で、2009-2010学年度にOTELAスコアの4または5を獲得した場合は、プログラムから卒業する。

お子様の英語力レベルに基づくと、英語力向上支援サービスを受ける期間は約_____年と予測されます。

学校を訪問され、担当スタッフから当プログラムの詳細を聞かれることをお勧めいたします。
ご質問がありましたら、担当者 _____ の電話番号 _____ までご連絡下さい。

宜しくお願い申し上げます。

学区当局者名

日付

以下は保護者用です：

この連絡事項を理解しました。

はい _____ いいえ _____

どなたかに私の母国語で内容を説明して頂くことを希望します。

はい _____ いいえ _____

私の母国語は _____ です。

この連絡で示されたプログラムのサービスを私の子供が受けることを承諾します。

はい _____ いいえ _____

この連絡で示されたプログラム・サービスを承諾されない場合は、お子様に他のサポートを提供することが可能か、親御さんにご相談することになります。

保護者の署名

日付

電話番号 _____

注：英語力不足は、学習能力障害ではありません。ですが、英語力不足に加えて学習能力障害問題があるお子様もいます。もし、あなたのお子様が学習能力障害であると診断された場合は、お子様に適した個別学習プランを保護者、担当教師、その他の専門家と相談して決め、それに沿った教育を受けることになります。

英語力不足(LEP)生徒向けプログラムの内容説明

第2言語としての英語 (English as a Second Language (ESL)) -- この教育方法は、英語力に欠ける生徒を対象に、英語の使い方を直接教えるものです。この学習クラスは特定の授業時間帯に提供され、そこでは生徒の母国語を殆ど使わない方法で教えられます。この時間以外は、生徒はメインストリーム(通常)の授業に参加することが出来ます。ESLのクラスでは、正規の英語文法を学び、また、自然な疎通方法(型にとらわれない会話、ゲーム、日常場面での話し方)の体験をします。英語の読み書き、そして口頭での疎通スキルの練習をします。

構造化イマージョン (Structured Immersion)、Sheltered English (シェルター型英語)、またはContent-based ESL (内容ベースESL) -- 構造化イマージョンでは、LEPの生徒が学科情報や基本概念を理解できるようになることを目指します。このクラスの生徒は外部から保護された(sheltered)環境、すなわち通常の教室で英語を母国語とする生徒達と直接に競合する必要のない環境をあたえられます。学科内容はLEPの生徒が理解できる形で提供されます。すなわち、先生は生徒が理解できる英語のレベルに合わせて教えます。また、視覚教材、具体的体験、手を使う教材などを頻繁に提供するようにします。この方法により、生徒は、算数、社会、理科などの学科内容の理解が向上するために必要な、聞く・話す・読む・書くスキルを学ぶことが出来ます。

バイリンガル教育 (Bilingual Education) -- バイリンガルの授業環境では、生徒の母国語と英語の両方が使用されます。バイリンガル教育は二つの前提に基づいています。1)生徒は学習内容が判ると、英語も含めて、習得が早くなる。2)英語力が不足している生徒でも、学科内容を母国語で学べるなら、英語を習う間にも、英語圏のクラスメートに遅れをとらない。

母国語援助 (Native Language Support) -- 母国語援助の場合、バイリンガルの助手が生徒に提供され、生徒が学科内容その他の情報を理解できない場合に、その助手が生徒の母国語で説明することになります。

個別指導 (Tutoring Sessions) -- 学区内のLEPの生徒数が特に少ない場合、通常、個人または小グループに対して教える機会を提供します。この場合、疎通に必要な基本英語のスキル、または学科の理解に必要な英語のスキルが重点的に教えられます。

学級内(参入)援助 (In-class support (Inclusion)) -- この方式の場合は、LEPの生徒は一般の英語圏の生徒と同じ教室で授業を受けます。ですが、ESLまたはバイリンガル教育の専門職の人材が、教室に滞在し、生徒に援助を提供できるようにします。例えば、グループ・プロジェクトまたは個人課題が与えられた時などに、ESLまたはバイリンガルの担当者がLEP生徒を援助することが出来ます。